

2020 卒業生アンケート

学生時代の学びと入職後のプロ
アクティブ行動の関連

山梨学院大学
学習・教育開発センター

調査の狙い

- 教育の成果・効果を調査する
- 山梨学院大学のディプロマポリシー(DP)
 - 知識をもとにいろいろな視点から物事を捉える力
 - 考えを整理して分析的・論理的に考える力
 - 自分や社会をより豊かにしようという気持ち
 - 異なる価値観を尊重し、周囲と協力する力
 - 学んだことを用いて、社会の問題解決に活かす力
- DPに対応した入職後の指標として「プロアクティブ行動」を採用した
- 在学中の学びと入職後のプロアクティブ行動の関連を調べることを通じて、教育の成果を可視化することを試みる

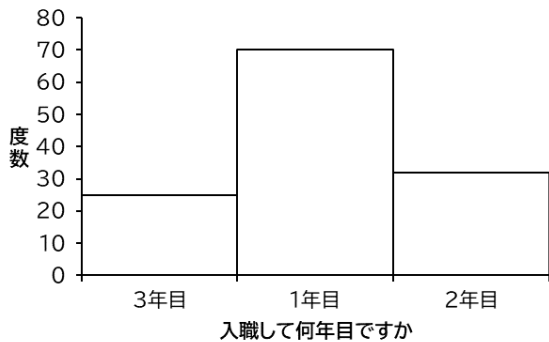
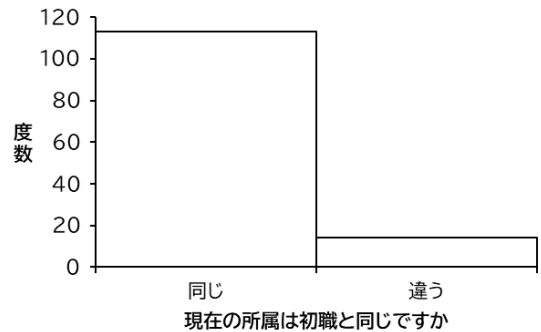
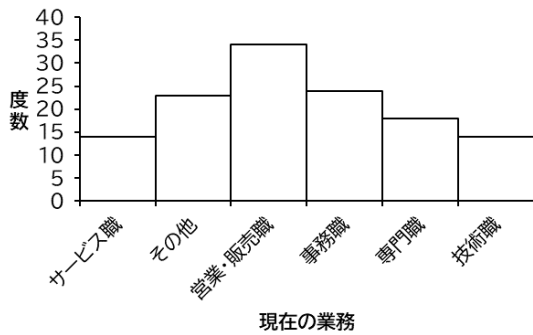
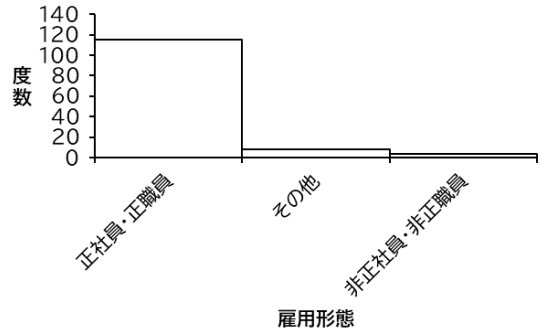
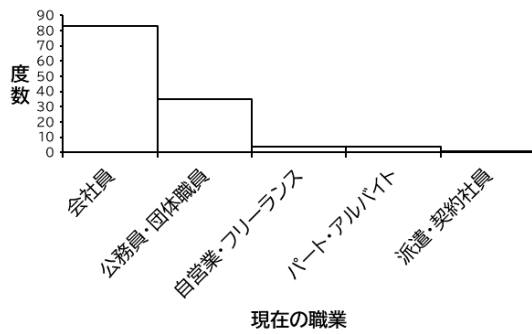
調査項目

見出し	構成概念	項目
フェイス		入職して何年目ですか 性別 卒業学科 国籍 現在の職業 現在の所属(企業名など) 業種 雇用形態 現在の業務
学習成果		現在の所属は初職と同じですか 専門分野の知識・技術を身に着ける ひとと協力しながらものごとを進める 幅広い教養・知識を身につける 自分の感情を上手にコントロールする ものごとを批判的・多面的に考える 現状を分析し、問題点や課題を発見する 異なる意見や立場をふまえて、考えをまとめる 社会や文化の多様性を理解し、尊重する 自分の知識や考えを文章で論理的に書く 筋道を立てて論理的に問題を解決する 自力で目標を設定し、計画的に行動する 既存の涌井とらわれず、新しい発想やアイデアを出す 国際的な視野を身に着ける 自ら先頭に立って行動し、グループをまとめる
大学生活の過ごし方		大学の授業 アルバイト サークルや部活 大学の授業以外の自主的な学習 読書 学校行事やイベント 卒業論文や卒業研究 就職活動
入職後の適応・パフォーマンス	プロアクティブ行動	新たなアイデアを積極的に試している 自分のアイデアを積極的に実行に移している 問題解決に際し、自ら新しい提案をしている 従来仕事のやり方にとらわれず、新たなやり方を試している 仕事を進めるうえで、社内のネットワークを活かしている 仕事を進めるうえで、社内のネットワークから情報を得ている 様々な情報を得られるように社内にネットワークを作り出している 他部門の人達との繋がりを大切にしている 社内の人間関係を広げようとしている 自分の将来に対しては非常に楽観的である 自分に都合よく物事が運ぶだろうとは期待しない 結果がどうなるかはっきりしない時は、いつも一番良い面を考える いつも物事の明るい面を考える 上司からアドバイスやフィードバックをもらうことで学習している 職場の同僚からアドバイスやフィードバックをもらうことで学習している 職場の同僚と一緒に同じ仕事に取り組むことで学習している

回答者

対象 約2400名(2017年度～2019年度の卒業生(3か年))

回答者 127名



学生時代の学び

学生時代の学びの14項目を回答結果から3つの因子に分類した(因子分析)。
学生時代に回答者が学んだことは、以下の3つの要素に分類できる。

		Factor1	Factor2	Factor3	共通性
F1 創造性	国際的な視野を身に着ける]	1.00	-.15	-.02	.785
F2 分析・解決	既存の概念とらわれず、新しい発想やアイデアを出す]	.82	.09	.03	.799
F3 社会性	社会や文化の多様性を理解し、尊重する]	.39	.05	.24	.342
	自力で目標を設定し、計画的に行動する]	.38	.26	.20	.527
	専門分野の知識・技術を身に着ける]	.32	.29	.14	.429
	現状を分析し、問題点や課題を発見する]	-.16	.94	.06	.753
	異なる意見や立場をふまえて、考えをまとめる]	-.07	.67	.21	.560
	筋道を立てて論理的に問題を解決する]	.36	.67	-.12	.798
	自分の知識や考えを文章で論理的に書く]	.50	.52	-.30	.665
	ものごとを批判的・多面的に考える]	.14	.46	.19	.468
	幅広い教養・知識を身につける]	.33	.35	.13	.501
	自ら先頭に立って行動し、グループをまとめる]	.22	-.09	.74	.682
	ひとと協力しながらものごとを進める]	.14	-.03	.68	.552
	自分の感情を上手にコントロールする]	-.26	.21	.59	.354

3つの学びがいずれの学習活動から得られたか分析した。「創造性」「分析・解決」は「大学の授業」「自主的な学習」などから、「社会性」は「読書」などから得られていた。

	学習成果 _創造性	学習成果 _分析・解 決	学習成果 _社会性
大学の授業	.55 **	.43 **	.17 +
アルバイト	.31 **	.17 +	.05
サークルや部活	.01	.06	.17 +
大学の授業以外の自主的な学習	.49 **	.47 **	.28 **
読書	.35 **	.34 **	.32 **
学校行事やイベント	.39 **	.33 **	.14
卒業論文や卒業研究	.39 **	.28 **	.06
就職活動	.01	.06	.00

学生時代に得た学びは、大きく「創造性」「分析・解決」「社会性」にまとめることができる

「創造性」「分析・解決」は「大学の授業」「自主的な学習」などから得ていた
「社会性」は「読書」などから得ていた

入職後のプロアクティブ行動

入職後のプロアクティブ行動16項目を回答結果から3つの因子に分類した(因子分析)。

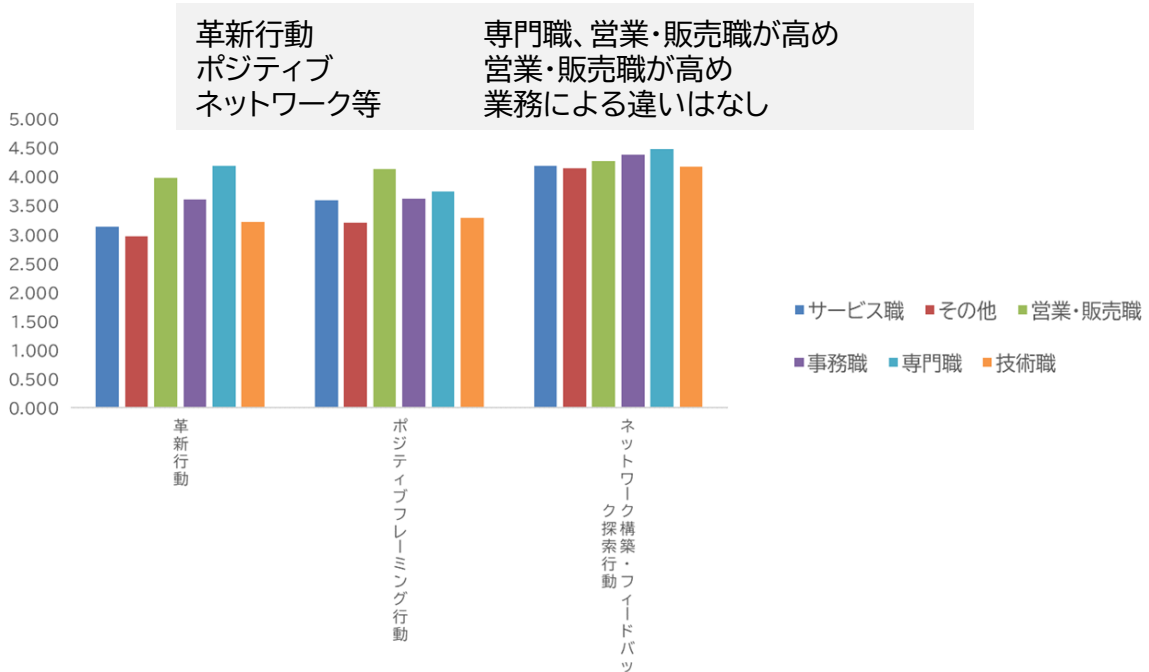
F1 革新行動

F2 ポジティブフレーミング行動

F3 ネットワーク構築・フィードバック探索行動

	Factor1	Factor2	Factor3
自分のアイデアを積極的に実行に移している]	.94	-.01	-.04
従来の仕事のやり方にとらわれず、新たなやり方を試している]	.93	-.02	-.10
問題解決に際し、自ら新しい提案をしている]	.92	.01	-.07
新たなアイデアを積極的に試している]	.84	-.01	.05
様々な情報を得られるように社内にネットワークを作り出している]	.69	.05	.10
仕事を進めるうえで、社内のネットワークを活かしている]	.51	.11	.21
いつも物事の明るい面を考える]	-.09	1.04	-.07
結果がどうなるかはっきりしない時は、いつも一番良い面を考える]	.13	.71	-.04
自分の将来に対しては非常に楽観的である]	.18	.55	.04
職場の同僚と一緒に同じ仕事に取り組むことで学習している]	.07	-.08	.95
職場の同僚からアドバイスやフィードバックをもらうことで学習している]	-.05	.09	.90
上司からアドバイスやフィードバックをもらうことで学習している]	-.05	.11	.85
自分に都合よく物事が運ぶだろうとは期待しない]	.03	-.16	.64

これらの行動がアクティブになるかどうか、業種による差がみられるか検討した。

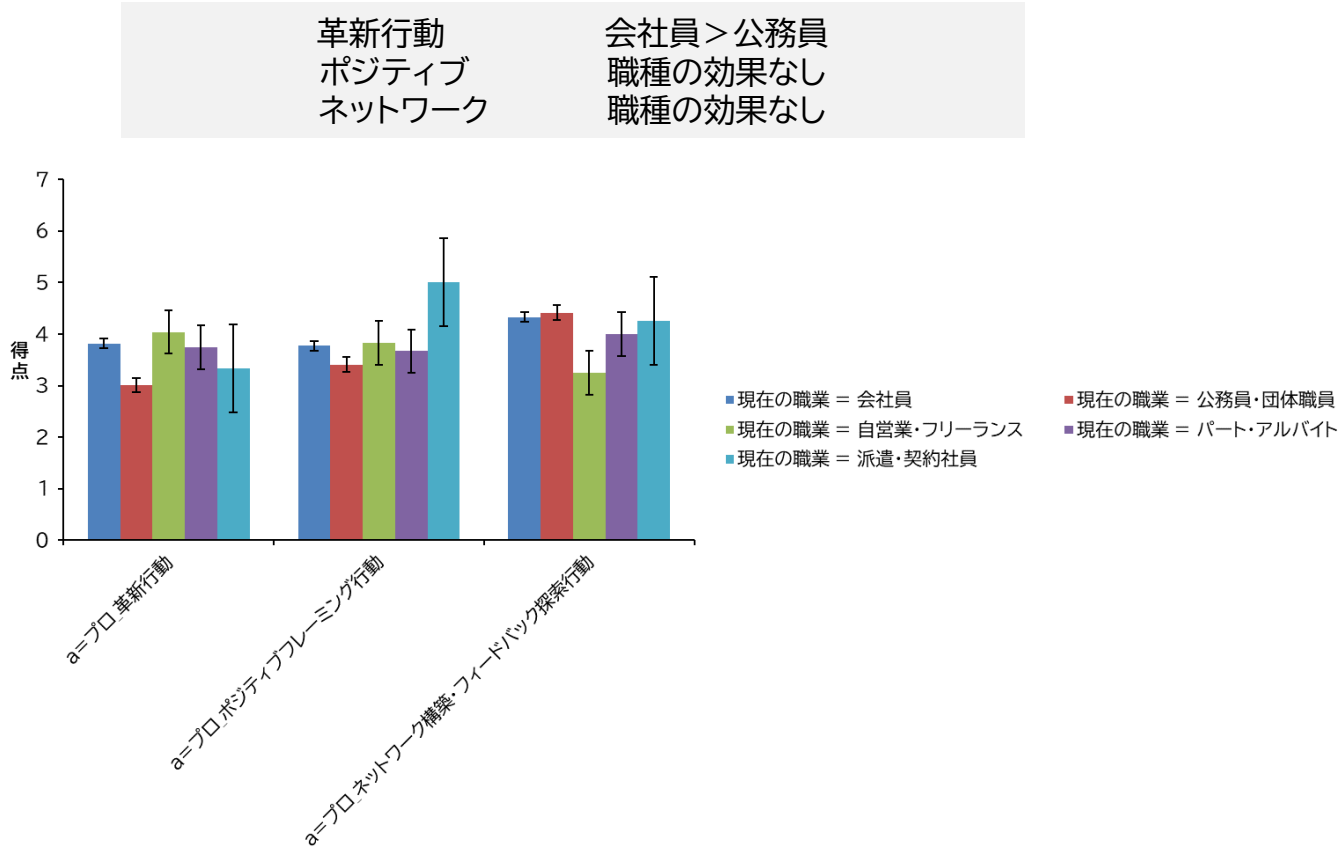


革新行動
ポジティブ
ネットワーク等

専門職、営業・販売職が高め
営業・販売職が高め
業種による違いはなし

入職後のプロアクティブ行動

これらの行動がアクティブになるかどうか、職種による差がみられるか検討した。



これらの行動がアクティブになるかどうかと、学生時代の学びとの関連を検討した。すべての学びがすべてのプロアクティブ行動の発現にポジティブな影響を与えていた。

革新行動
ポジティブフレーミング
ネットワーク等

社会性
社会性
分析・解決

	学習成果_創造性	学習成果_分析・解決	学習成果_社会性
プロ_革新行動	.30 **	.27 **	.54 **
プロ_ポジティブフレーミング行動	.29 **	.31 **	.39 **
プロ_ネットワーク構築・フィードバック探索行動	.36 **	.45 **	.26 **

革新行動
ポジティブフレーミング
ネットワーク等

社会性
社会性
分析・解決

まとめ

結果のまとめ

在学中の学びの成果
「創造性」「分析・解析」「社会性」

在学中の学びを育んだ主な学習活動
「大学の授業」「自主学習」

入職後のプロアクティブ行動
「革新行動」「ポジティブフレーミング行動」
「ネットワーク構築・フィードバック探索行動」

入職後のプロアクティブ行動を支える、在学中の学びの成果
3つの学びの成果が、3つの入職後のプロアクティブ行動のすべてと関連していた

インプリケーション、限界

- ・教育の成果は確実に入職後の望ましい組織行動を支えていると考えらる
- ・現在本学が進めている教育改革の成果についても引き続き追跡調査を通じて可視化していく
- ・本デーは回答数が少ないため、知見の頑健性を高める工夫を要する

謝辞

お忙しいなか調査にご協力くださった回答者の皆様に記して御礼申し上げます

卒業生たちは、大学の授業や自主学習を通して、学びの成果を得るとともに、得た成果を背景に入職後にプロアクティブ行動を発揮していることが示唆された